

Design  
your  
passion



 トヨタ紡織株式会社

[証券コード:3116]

株主のみなさまへ  
**第88期 報告書**

2012.4.1-2013.3.31

(平成24年4月1日-平成25年3月31日)

株主のみなさまへ…………… 01

財務ハイライト…………… 03

**トピックス** 4つの軸で、新たなビジネス拡大に  
取り組んでいます…………… 05

世界のステークホルダーから愛され、  
ともに成長する企業に…………… 07



取締役社長

豊田周平

## 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに「第88期 報告書」をお届けし、当社グループの経営方針を改めてご説明いたしますとともに、当期(2012年4月1日～2013年3月31日)の業績概況、事業概況をご報告いたします。

### 新規ビジネスを積極的に推進

当期は、東日本大震災やタイ洪水による供給制約が解消したことにより国内需要は回復に向かいましたが、エコカー補助金の終了による販売台数の縮小など依然として不透明な状況が続いております。このような情勢の中で、当社グループといたしましては、既存の枠に捉われない新しいビジネスを積極的に推進するとともに、新規ビジネスモデルに迅速に対応できる強靱な体質づくりに全社を挙げて取り組んでまいりました。

生産体制の整備では、新たにブラジルや中国 長春で自動車内装部品の生産を開始したほか、チェコや中国 瀋陽などで新たな生産拠点の設立を図るなど、欧州自動車メーカーをはじめとする新規顧客拡大に向けた体制づくりを進めてまいりました。

事業領域の拡大では、高精度高速プレス加工技術を活用したハイブリッド用モーターコア構成部品が新型クラウンに採用され、市場拡大が期待されるハイブリッド分野へ新たに参入しました。また、自動車以外の新たな分野に対しても積極的に受注活動を展開しており、高級車のシート開発で培った技術を活かし、初めて、鉄道車両用シート(JR北陸新幹線「グランクラス」※P6参照)を受注したほか、源流事業である繊維技術と自動車のシートカバー

技術、内装空間のデザイン技術を応用した住宅用装飾材「ヌノカベ」(※P6参照)を新たに開発するなど、新しいビジネスを積極的に進めてまいりました。

### 増産の影響などにより 前年同期に比べ増収増益

当期の連結業績につきましては、前年同期に比べ増収増益という結果になりました。売上高は、増産および円高是正の影響などにより、1兆794億円(前年同期比1,152億円増)となりました。利益につきましては、製品価格変動の影響、労務費・諸経費の増加など減益要因はありましたが、増産増収の影響、合理化などにより、営業利益253億円(前年同期比43億円増)、経常利益339億円(前年同期比106億円増)、当期純利益157億円(前年同期比125億円増)となりました。

また、配当金につきましては、株主のみなさまへの安定的な配当の継続を基本に、1株当たり配当金を年間18円(前年同期比2円増)とさせていただきます。

次期の連結業績見通しに関しましては、売上高1兆

1,000億円、営業利益300億円、経常利益340億円、当期純利益160億円を見込んでおります。

日本経済は足元においては円安・株高基調が続いておりますが、中期的には少子化などによる市場の縮小、消費税増税などの影響に加え、自動車生産の海外シフトの加速などにより依然として予断を許さない状況が続くと思われま

### グループ丸となって 「2020Vision」達成に取り組む

このような状況の中でも、当社グループは、Automobile-あらゆる移動空間への挑戦や電気自動車など次世代自動車への対応、今後も成長が続く新興国市場の更なる拡大や新規顧客の獲得など、グローバルに勝ち残るための新たな体制を構築し、「2020Vision」達成に向け、これまでの考え方や価値観に捉われないことなく、社員一人ひとりが「Quantum Leap(発想の飛躍)」をもって課題に挑戦し、グループ丸となって取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 2020年にありたい姿

#### 事業におけるありたい姿

世界中のお客さまに最高のモビリティライフを提案し続ける会社

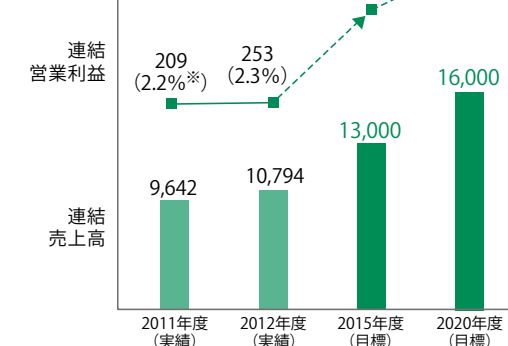
#### 社会から見たありたい姿

すべてのステークホルダーから信頼され、ともに成長する会社

### 経営目標

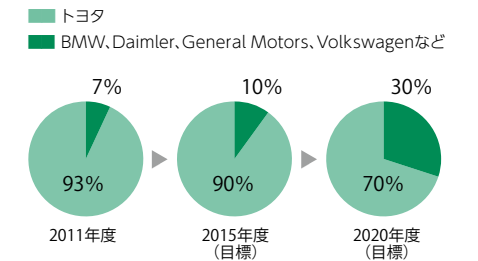
#### 連結売上高および営業利益

(単位:億円) ※営業利益率

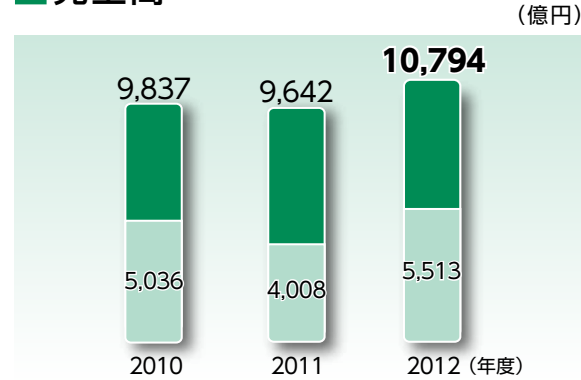


#### 売上比率

現在のトヨタ自動車(株)向けの売上高を維持し、新規顧客・新規プロジェクトの獲得を通じて事業拡大を目指す。



売上高



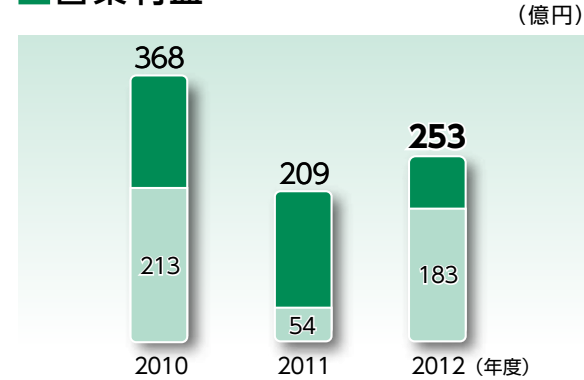
各地域での販売台数の増加などにより、増収となりました。

経常利益



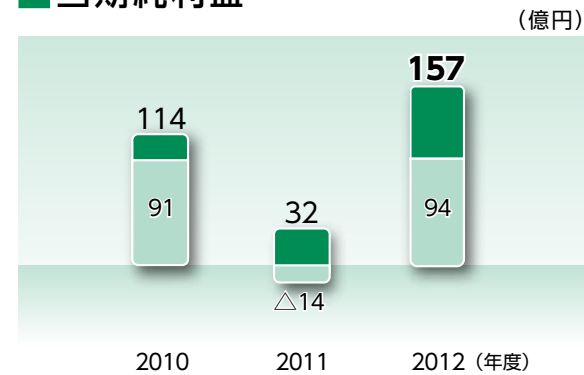
営業利益と同様に、増産増収の影響などにより、増益となりました。

営業利益



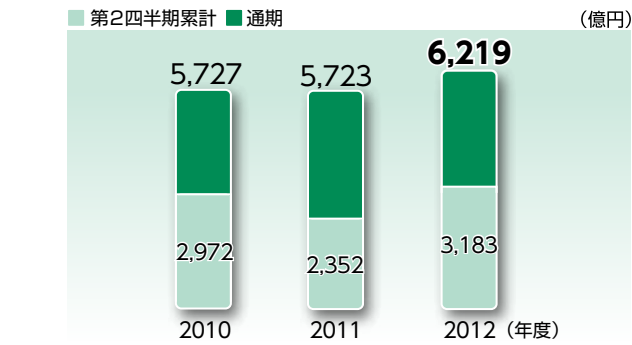
製品価格変動の影響などの減益要因はありましたが、増産増収の影響、合理化などにより、増益となりました。

当期純利益



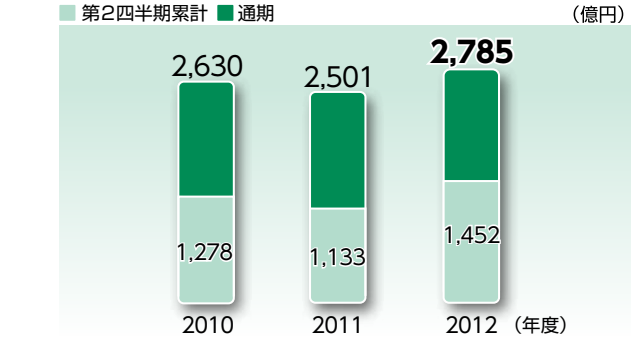
経常利益の増加に加え、特別損失の減少などにより、増益となりました。

日本の売上高の推移



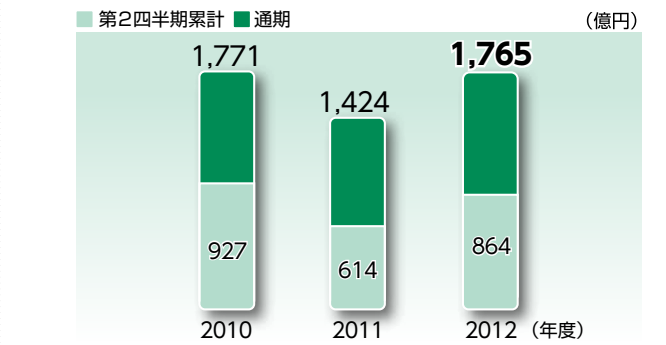
震災による減産からの回復および、エコカー購入支援政策による増産効果などにより、前年同期に比べ、495億円(8.7%)増加の6,219億円となりました。

アジア・オセアニアの売上高の推移



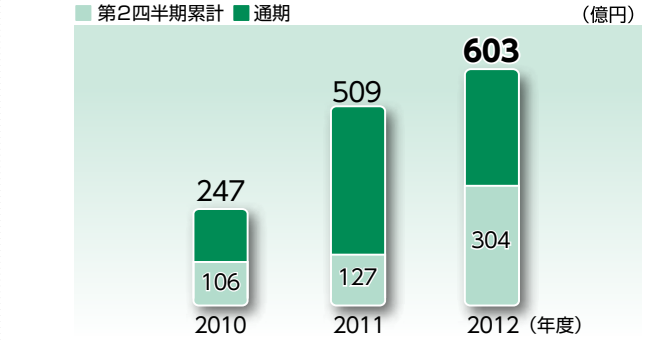
中国での減産による影響はあったものの、タイ洪水による減産からの回復や増産効果などにより、前年同期に比べ、284億円(11.4%)増加の2,785億円となりました。

北中南米の売上高の推移



震災による減産からの回復および、トヨタ カローラ、RAV4の増産効果などにより、前年同期に比べ、341億円(24.0%)増加の1,765億円となりました。

欧州・アフリカの売上高の推移

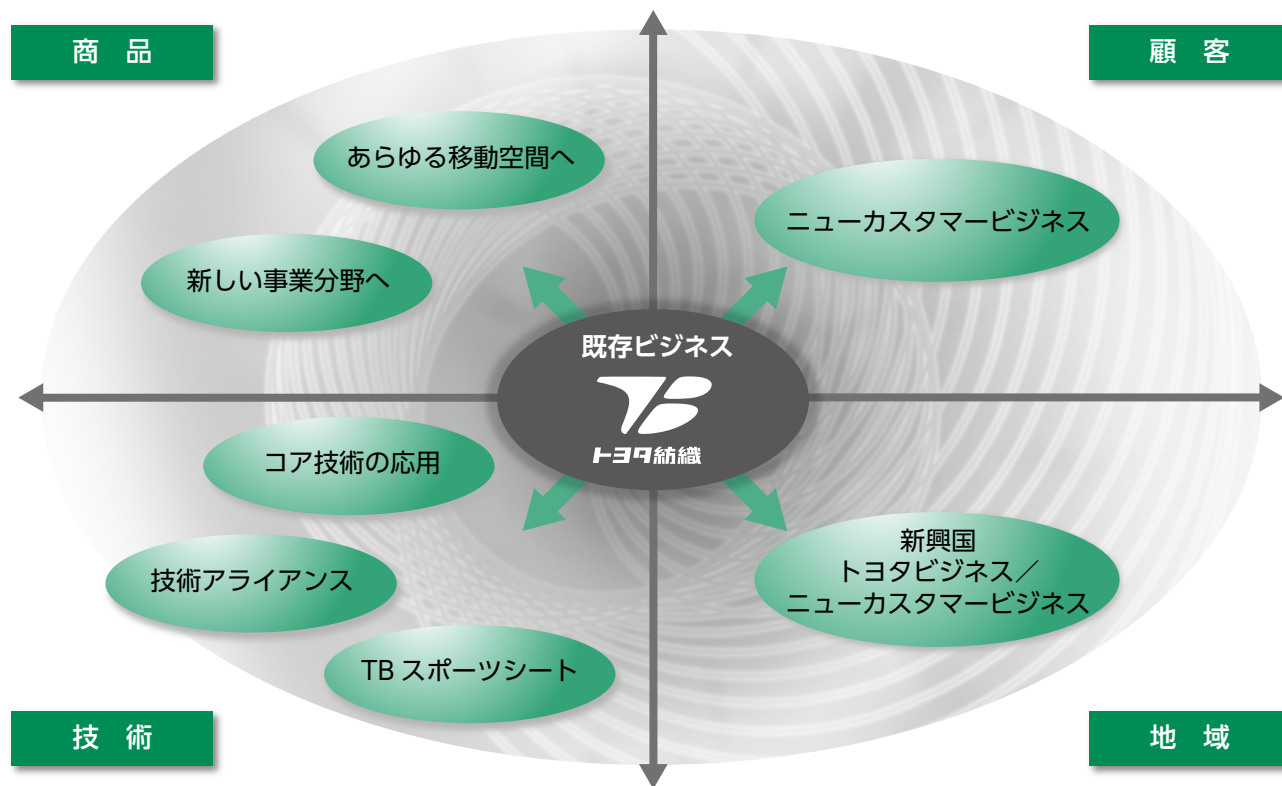


フランスのトヨタ ヤリスの増産効果や、紡織オートモーティブヨーロッパの事業開始などにより、前年同期に比べ、93億円(18.3%)増加の603億円となりました。



# 4つの軸で、新たなビジネス拡大に取り組んでいます

2015年中期経営計画、2020ビジョンの実現に向けた動きを強化していきます。



## 商品

鉄道車両用シートなど、あらゆる移動空間に向けた商品、新しい事業分野に向けた商品の提案

## 技術

トヨタ紡織のコア技術の応用、アライアンスによる協業や、デザイン性が高く、乗り心地を追求した独自のシートの提案

## 地域

今後も自動車生産台数が見込まれる新興国への拡大

## 顧客

欧州カーメーカーなど新規顧客へのビジネス拡大

## 01

トピックス

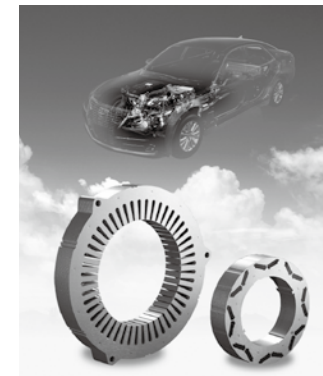
### ビジネスの拡大

#### ハイブリッドシステム用モーターコア<sup>\*1</sup>生産開始

新たにハイブリッドシステム用モーターコアの生産を開始し、トヨタ自動車(株)より12月に発表された新型クラウンに採用されました。トヨタ紡織がハイブリッド関連部品を生産するのは今回が初めてです。当社が生産するのは、ローター(回転子)とステーター(固定子)というモーターコア構成部品で、磁気特性に優れた電磁鋼板をプレス加工し積み重ねます。精密プレス積層加工工法<sup>\*2</sup>を採用し、当社が開発した高精度高速プレス加工「ファイン・ホールド・スタンピング工法」の技術を活用しています。今後も主要事業のひとつであるフィルター・パワートレーン機器部品事業において、エアクリナーなどのエンジン周辺部品から、自動車の動力源となるパワートレーン基幹部品への事業拡大を図ります。

<sup>\*</sup>1 駆動用モーターと発電用モーターを有するハイブリッド自動車の心臓部

<sup>\*</sup>2 材料となる板材をプレスしながら積み重ね、ある一定の枚数になった時点で、自動的に仕上げる加工法



モーターコア構成部品  
(左:ステーター、右:ローター)

## 02

トピックス

### ビジネスの拡大

#### 鉄道車両用シートを初受注

鉄道車両用シートを開発し、東日本旅客鉄道(株)と西日本旅客鉄道(株)が共同開発する北陸新幹線の新型車両E7系・W7系の「グランクラス」に初採用されました。今回採用されたシートは、新幹線における新グレード「グランクラス」にふさわしい高級感と快適性を備えています。最高級の素材を用いて風格あるシートデザインに仕上げるとともに、お客様の体格差やさまざまな着座姿勢でも身体全体をバランス良くサポートする形状で、長時間移動における高い快適性を実現しました。当社は自動車用シート分野では、人間工学に基づいた乗り心地を追求してきましたが、今回、高級車のシート開発・生産を通じて培ってきたモノづくりを初めて鉄道車両に提供できることは非常に大きな第一歩です。



グランクラスインテリアイメージ  
画像提供: 東日本旅客鉄道(株)

## 03

トピックス

### ビジネスの拡大

#### 住宅用内壁面装飾材「ヌノカベ」を開発

トヨタホーム(株)と共同で、デザイン性に優れ、高級感のある住宅用内壁面装飾材「ヌノカベ」を開発しました。トヨタ紡織が、住宅用インテリア商品を手がけるのは、今回が初めてです。ヌノカベは、トヨタ紡織の源流である繊維技術と自動車のシートカバー技術、内装空間のデザイン技術を応用して開発した住宅用壁面装飾材です。ファブリックを用いたモジュール構成と多彩なバリエーションにより、住宅室内の壁面を彩るとともに、静粛性をはじめとした機能で快適な住空間を提供します。



ヌノカベを使用したインテリアイメージ

# 世界のステークホルダーから愛され、ともに成長する企業に

## 04 トピックス 事業展開 中国の瀋陽に自動車用内装部品の生産拠点を設立

中国遼寧省瀋陽市に自動車用内装部品を生産する新会社「瀋陽豊田紡織自動車部件有限公司」を設立します。当社は世界中の自動車メーカーとの新規ビジネス獲得に積極的に取り組んでおり、世界最大の自動車市場に成長した中国においても、より多くの自動車メーカーとの取引拡大を目指しています。新会社は、2016年からドアトリムや天井などの自動車内装部品の生産を開始し、さらにビジネスを拡大します。



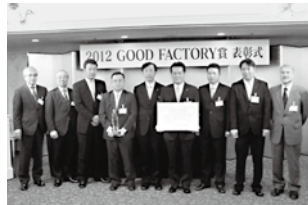
## 05 トピックス 事業展開 ラオスに初めて自動車用内装部品の生産拠点を設立

ラオス人民民主共和国に自動車用内装部品の生産新会社「トヨタ紡織ラオス」を設立しました。トヨタ紡織グループとしてラオスに生産拠点を設けるのは、今回が初めてとなります。新会社は、トヨタ紡織グループのタイの生産拠点を補完するサテライト工場として位置づけ、自動車用シートカバーなどの内装部品を2014年4月より生産を開始し、タイのシート生産拠点に供給していきます。

## 06 トピックス GOOD FACTORY賞<sup>※</sup>表彰式

一般社団法人日本能率協会が主催するGOOD FACTORY賞の表彰式が開催され、トヨタ紡織ゲートウェイ(タイランド)が、「モノづくりプロセス革新賞」を受賞しました。この賞では品質や生産工程などのモノづくりにおけるプロセスを総合的に強化、改善していることが評価されました。

※日本や中国などアジア地域の日系企業を対象に、品質向上など4部門において成果を挙げた工場を顕彰



受賞式の様子

## ■設立、生産開始、合併

設立	2012年5月 2012年6月	紡織オートモーティブチェコ TBソーテックトルコ
生産開始	2012年5月 2012年8月	長春富維豊田紡織 (シート、ドアトリムなど) トヨタ紡織ブラジル (シート、ドアトリム、エアクリナーなど)
合併・社名変更	2012年4月	TBユニファッション
子会社化	2012年12月	TBMECAポーランド <sup>※</sup> ※トヨタ紡織ヨーロッパ、メカプラスト、デンソーインターナショナル・ヨーロッパの3社による合併会社  TBMECAポーランド

## コラム 中部国際空港に 広告看板掲出開始

中部国際空港に、新しく広告看板の掲出を開始しました。トヨタ紡織の新しい挑戦や事業領域の広がりをイメージしました。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

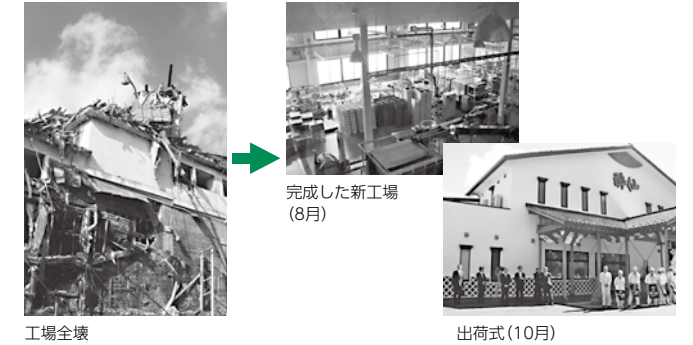


中部国際空港 3F出発連絡通路に掲出

## 07 トピックス 地域社会とともに モノづくりを通し 東日本大震災復興支援

トヨタ紡織グループは東北復興支援の一貫として、陸前高田市で被災した酔仙酒造の復興をモノづくりの技術で支援しました。伝統的なモノづくりを継承しつつ、モノづくりに対する意識改革や、原理・原則の徹底<sup>※</sup>、トヨタ生産方式を取り入れた新工場建設などをアドバイスし、2012年10月に新工場(大船渡市)で商品の出荷式を迎えました。

※標準作業、酒づくりに必要な項目の定量化・データ化など



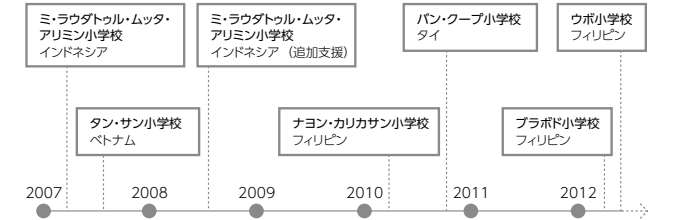
## 08 トピックス 地域社会とともに 小学校建設支援活動

トヨタ紡織課長会<sup>※1</sup>は2007年より継続的に、国際NGO団体プラン・ジャパン<sup>※2</sup>と連携してインドネシア、ベトナム、フィリピン、タイなどトヨタ紡織グループの事業体がある地域で、4カ国6つの小学校建設に協力しています。

※1 トヨタ紡織に在籍する基幹職3級の自主活動組織

※2 子どもとともに地域開発を進める国際NGOプラン・インターナショナルの日本事務局(本部：イギリス)

### ■トヨタ紡織課長会 小学校建設活動の変遷(2007年～)



## 企業スポーツ活動

トヨタ紡織グループの4つの強化クラブは、日本や世界での活躍を目指しています。

### ■ボート部

8月開催された世界選手権大会で、塚本選手が日本代表として出場し7位に入賞しました。10月に行われる全日本選手権大会では、個人・団体で優勝を目指します。



### ■陸上部

11月開催の中部実業団駅伝大会と、2月開催の名岐駅伝大会で優勝。また、元旦のニューイヤー駅伝大会では7位に入賞しました。今年はさらに上を目指していきます。



### ■女子バスケットボール部

1月開催の全日本バスケットボール選手権大会(ALL JAPAN)に出場し、初のベスト8に入賞しました。今年はWリーグ上位入賞を目指します。



### ■ハンドボール部(トヨタ紡織九州)

ぎふ清流国体に佐賀県成年男子の代表として出場し3位に入賞しました。9月に開催される日本ハンドボールリーグでは優勝を目指します。





# 決算概要

## 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当期末 (2013年3月31日)	前期末 (2012年3月31日)
<b>●資産の部</b>		
流動資産	339,282	372,052
固定資産	244,673	225,602
有形固定資産	204,916	189,832
無形固定資産	4,491	4,426
投資その他の資産	35,265	31,342
<b>資産合計</b>	<b>583,955</b>	<b>597,654</b>

## 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	前期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>1,079,497</b>	<b>964,295</b>
売上総利益	93,156	79,196
販売費及び一般管理費	67,854	58,286
<b>営業利益</b>	<b>25,302</b>	<b>20,910</b>
営業外収益	12,879	8,913
営業外費用	4,267	6,598
<b>経常利益</b>	<b>33,914</b>	<b>23,225</b>
特別損失	1,083	3,288
税金等調整前当期純利益	32,830	19,937
法人税等合計	11,207	11,412
少数株主利益	5,830	5,291
<b>当期純利益</b>	<b>15,792</b>	<b>3,232</b>

(単位：百万円)

科目	当期末 (2013年3月31日)	前期末 (2012年3月31日)
<b>●負債の部</b>		
流動負債	246,557	272,204
固定負債	116,656	135,101
<b>負債合計</b>	<b>363,214</b>	<b>407,306</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	202,096	189,454
その他の包括利益累計額	△ 14,849	△ 28,439
新株予約権	802	972
少数株主持分	32,690	28,360
<b>純資産合計</b>	<b>220,740</b>	<b>190,347</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>583,955</b>	<b>597,654</b>

### 個人株主様工場見学会を開催

個人株主のみなさまに、生産ライン見学を通じてトヨタ紡織グループへの理解を深めていただくため、定期的に工場見学会を開催しています。



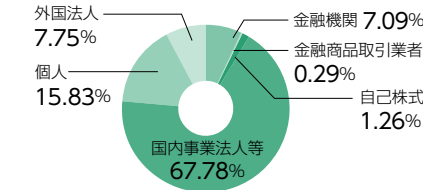
# 会社の概況 (2013年3月31日現在)

## 株式の総数

発行可能株式総数 ..... 500,000,000 株  
発行済株式の総数 ..... 187,665,738 株

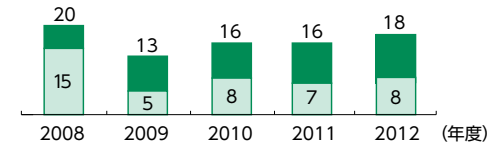
## 株主数 (21,239 名)

### ●所有者別株式分布状況



## 配当金の推移

■ 年間 (単位：円)  
■ 中間期



当社は、安定的な配当の継続を基本に、連結業績および配当性向などを総合的に勘案し、株主のみなさまのご期待にお応えしていくことを配当の基本方針としています。

### ●期末配当金について

2013年6月13日開催の株式総会において、2013年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当金をお支払いします。

1. 期末配当金：1株につき10円
2. 効力発生日ならびに支払い開始日：2013年6月14日

## 会社データ

設立 ..... 1950年5月  
資本金 ..... 8,400百万円  
従業員数 ..... 単独 8,238名 連結 32,986名  
本社 ..... 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

## 役員 [取締役および監査役] (2013年6月13日現在)

取締役社長	豊田 周平	取締役	山内 得次
取締役副社長	小山 秀市	取締役	奥平総一郎
取締役副社長	宮寺 和彦	取締役	宮木 正彦
取締役副社長	滝 隆道	常勤監査役	桂木 正樹
取締役	上田 広司	常勤監査役	伊藤 嘉徳
取締役	野田 憲一	監査役	豊田 章男
取締役	伊藤 文隆	監査役	吉田 均
取締役	堀 弘平	監査役	加藤 宣明
取締役	杉江 保彦		

## 主な製品



**●内装品**  
シート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される移動空間を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとして捉え、総合的な美しさや快適性・安全性を追求しています。



**●フィルター・パワートレイン機器部品**  
世界をリードするフィルトレーション技術を駆使し、吸気システム製品や、エレメント交換型オイルフィルターなどのエンジン潤滑系製品、車室内空調系フィルター製品などの開発・生産を行っています。



**●繊維・外装品他**  
繊維事業ではシートファブリック、エアバッグ用布製品などの開発・生産を行っています。また、外装品事業では補給用バンパー、フェンダーライナーなどの生産を行っています。

## 株式事務のお取扱いについて

### ■ 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### ■ 定時株主総会

毎年6月

### ■ 配当金支払株主確定日

3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日

### ■ 株主名簿管理人および特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### ■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

### ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式に関するお手続きについて

### ■ 特別口座に記録された株式

お手続き、 照会等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>● 単元未満株式の買取（買増）請求</li> <li>● 住所・氏名等のご変更</li> <li>● 特別口座の残高照会</li> <li>● 配当金の受領方法の指定※</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>● 支払期限経過後の配当金に関するご照会</li> <li>● 株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>
	特別口座管理機関	株主名簿管理人
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
	[手続き書類のご請求方法] ● 音声自動応答電話によるご請求 <b>0120-244-479</b> （通話料無料） ● インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>	

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ■ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、 照会等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>● 支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>● 株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 左記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>
	株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等にお問合せください
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

## 「復興特別所得税」に関するご案内

東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法（平成23年法律第117号）の施行に伴い、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、以下のとおり追加課税されることになりましたので、ご案内いたします。

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、  
平成25年1月1日から平成49年12月31日まで、  
復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることとなります。

平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率は右表のとおりとなります。

- 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご提供するために作成したものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 本ご案内は平成24年12月時点の情報をもとに作成しております。

		平成24年 12月31日まで	平成25年 1月1日から 平成25年 12月31日まで	平成26年 1月1日から 平成49年 12月31日まで	平成50年 1月1日から
所得税	所 得 税	7%	7%	15%（※）	15%
	復興特別所得税	—	0.147%	0.315%	—
	住 民 税	3%	3%	5%（※）	5%
合 計		10%	10.147%	20.315%	20%

（※）証券税制における軽減税率の適用終了による税率の変更です。

お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）

